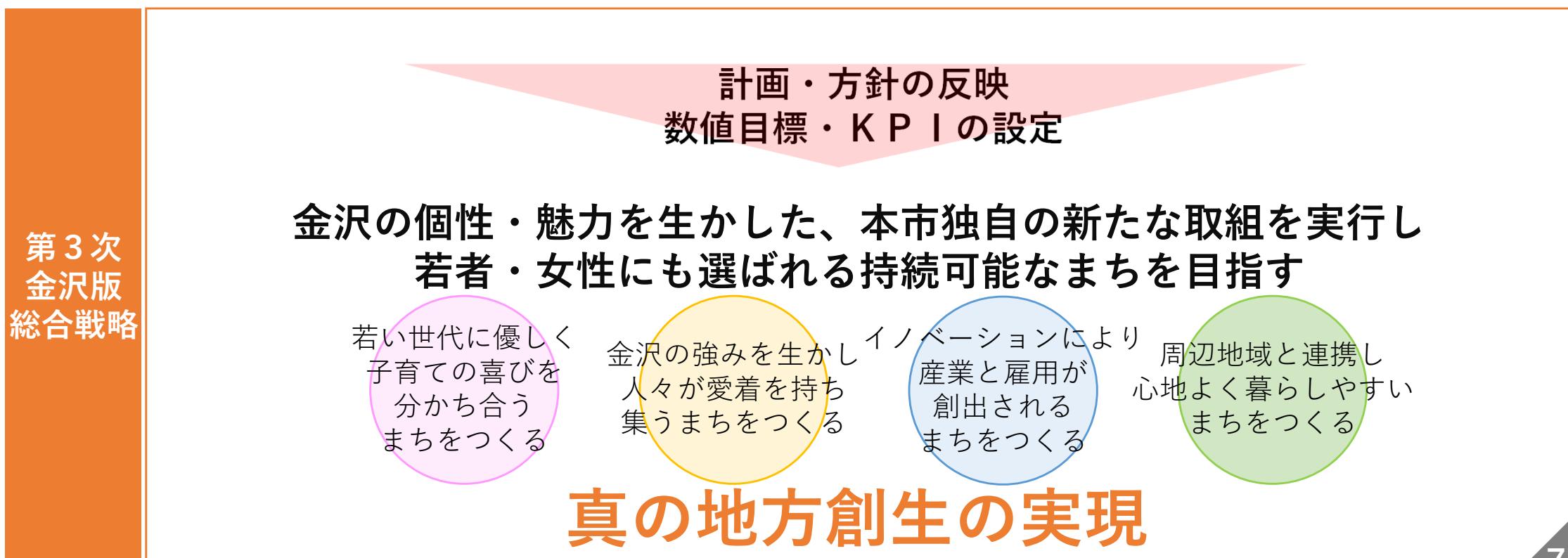


第3次金沢版総合戦略の改訂について

第3次金沢版総合戦略 改訂の方針

関連 計画 等	国	金沢市
要素	<p>地方創生2.0の「基本的な考え方」 (基本構想(令和7年夏頃))</p> <ul style="list-style-type: none">・人口減少が続く地方を守り、若者・女性にも選ばれる地方(=楽しい地方)を構築・次の10年を見据えた文化・教育・社会の変革	<p>金沢こどもまんなか未来プラン (令和6年度策定)</p> <ul style="list-style-type: none">○少子化対策○子育て支援対策○移住・定住、関係人口の促進○学生定着



◆地方創生2.0起動の必要性

- 我が国の成長力を維持していくためには、**都市も地方も、楽しく、安心・安全に暮らせる持続可能な社会**を創っていく必要。
- 特に、**人口減少が続く地方を守り、若者・女性にも選ばれる地方(=楽しい地方)**、**高齢者も含め誰もが安心して住み続けられる地方の構築**は待ったなし。
- 地方創生2.0は、単なる地方の活性化策ではなく、**日本の活力を取り戻す経済政策**であり、**多様性の時代の多様な幸せを実現するための社会政策**であり、我がまちの良さ、楽しさを発見していく営み。
- それぞれの地域の「楽しい」取組が拡がっていくよう、**次の10年を見据えた地方創生2.0を今こそ起動し、この国の在り方、文化、教育、社会を変革する大きな流れをつくり出す。**

◆これまでの取組の反省

- 若者・女性からみて「いい仕事」、「魅力的な職場」、「人生を過ごす上での心地よさ、楽しさ」が地方に足りないなど問題の根源に有効にリーチできていなかったのではないか。
- 人口減少がもたらす影響・課題に対する認識が十分に浸透しなかったのではないか。
- 人口減少を前提とした、地域の担い手の育成・確保や労働生産性の向上、生活基盤の確保などへの対応が不十分だったのではないか。
- 産官学金労言の「意見を聞く」にとどまり、「議論」に至らず、好事例が普遍化されないなど、地方自らが主体的に考え方行動する姿勢や、ステークホルダーが一体となった取組、国の制度面での後押しが不十分だったのではないか。

など

◆地方創生をめぐる情勢の変化

●地方にとって厳しさを増す変化

- ・ 人口減少と出生数・出生率の低下が想定を超えるペースで進み、高齢化が進むことで、特に地方では労働供給制約、人手不足が進行。
- ・ 地域間・男女間の賃金格差や、様々な場面にあるアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）などにより、若者・女性の地方離れが進行。
- ・ 買物、医療・福祉、交通、教育など日常生活に不可欠なサービスの維持が困難な地域が顕在化、深刻化など

●地方にとって追い風となる変化

- ・ インバウンドの増加、特に、地方特有の食や景観・自然、文化・芸術、スポーツなどを評価して地方を訪れ、产品・サービスを求める外国人の増加
- ・ リモートワークの普及、NFTを含むWeb3.0などデジタル技術の急速な進化・発展 など

第3次金沢版総合戦略 改訂のポイント

- 「金沢 こどもまんなか未来プラン」の策定
 - 少子化対策、子育て支援対策

1. 基本理念

「こども・若者の幸せな未来をみんなで創るまち金沢」

次代を担うこども、若者が幸せに暮らし、健やかに成長できる未来を、
地域や各種団体、企業など様々な主体が連携・協力して創るまちをめざす

2. 施策の推進にあたり重視すべき視点

- ・こどもや若者、子育て当事者の意見や視点を尊重する
- ・金沢の文化や自然、地域コミュニティなどの強みを生かす
- ・必要な支援等を必要な人に届けるための効果的な情報発信を行う

3. 基本方針

基本方針 1

結婚やこどもを持つことの
希望を叶えられるまち

基本方針 2

こどもを育む喜びを
感じられるまち

基本方針 3

安心して仕事と子育てを
両立できるまち

基本方針 4

困難を抱えるこどもと親を
社会全体で見守り支えるまち

基本方針 5

こども・若者が健やかに
成長できるまち

基本方針 6

こども・子育てにやさしいまち

第3次金沢版総合戦略 改訂のポイント

○移住・定住の促進、関係人口の創出・拡大

1. 主なターゲット層

地域力の再生に有効なターゲット層に対し移住・定住施策等を促進

- (1) 子育て世帯
- (2) 学生・若者・女性

2. 本市の強み

- ・子ども広場や図書館の蔵書数が豊富、情操教育の充実
- ・高等教育機関数の多さ、学生の多さ
- ・都市圏等からみた暮らしやすさ、三大都市圏とのアクセスの良さ
- ・伝統・文化、芸術、自然が身近（食・建築・スポーツを含む）
- ・安全安心と都市機能の充実（治安のよさ、交通・医療の充実など）

3. 施策の方向性

【移住】子育て世代に対する移住PRの強化、若者のUJITーンの促進、サポート体制の強化

【定住】学生（特に女性）の卒業後の市内定着、県外への転出抑制

【関係人口】ふるさと納税や民間ノウハウ等を活用した施策の推進

基本目標1 若い世代に優しく、子育ての喜びが実感できるまちをつくる

【数値目標】



17 パートナーシップで目標を達成しよう

◆子どもを産み育てやすい環境が整っていると感じる市民の割合 47.5%(R5) → 59%(R10)

◆合計特殊出生率 1.35(R4) → 国長期ビジョン、市人口ビジョン改訂に合わせて再設定

【主な取組】1/2 ※新たに実施する事業を新、既存事業を拡充するものを改として記載、その他前年度より引き続き実施する主要事業を記載

(1) 妊娠から出産・育児までの期間を安心して過ごすことができる環境づくり

こども 新 ①出産の希望が叶えられる環境づくりに向けて、3歳未満児の第2子の保育料を無償化

こども 改 ②子育て世代に必要な情報を発信する「いしかわ中央子育てアプリ」をリニューアル

こども 改 ③かなざわ子育てすまいるクーポンに、近隣市町の全天候型の子どもの遊び場を追加

こども 新 ④育児負担の軽減と孤立防止を図るため、親子交流の場となる子育て支援カフェを開催

こども 改 ⑤妊娠婦の負担軽減を図るため、育児や家事を支援するヘルパー派遣制度を拡充

こども 改 ⑥ひとり親世帯等を必要な支援につなげる金沢版子ども宅食の開催地区を拡大

こども 改 ⑦子どもの居場所づくりにかかる支援制度を拡充するほか、ポータルサイトを開設

こども 新 ⑧子ども宅食や子どもの居場所づくりを継続して支援する企業の認定制度を創設

こども 新 ⑨芸術活動が体験できる子どもの情操教育拠点施設として宮野保育所を改修

こども 新 ⑩児童クラブにおいて文化芸術に触れるワークショップを本格実施



基本目標1 若い世代に優しく、子育ての喜びが実感できるまちをつくる

【数値目標】



◆子どもを産み育てやすい環境が整っていると感じる市民の割合 **47.5%**(R5) → **59%**(R10)

◆合計特殊出生率 **1.35**(R4) → 国長期ビジョン、市人口ビジョン改訂に合わせて再設定

【主な取組】 2/2

(2) 結婚の希望をかなえるための環境づくり

子ども 新 ①石川中央都市圏の市町と共同で、結婚を希望する若者を対象に大規模婚活イベントを開催

子ども 新 ②若者の経済的不安の軽減を図るため、保育、福祉分野の奨学金返還支援制度を創設

子ども 改 ③奨学金返還支援制度を設ける中小企業に対する支援制度を拡充

子ども 改 ④男性労働者の育児休業取得に取り組む中小企業を支援



(3) 仕事と家庭の両立や地域活動への参画を促進する働き方改革の推進

子ども 新 ①保育所等における「子ども誰でも通園制度」の導入に向けたモデル事業を実施

子ども 改 ②保育所等での体調不良児対応型病児保育の実施箇所を拡大

子ども ③待機児童の解消に向けて、児童クラブの新增設を支援

子ども 改 ④児童クラブにおける配慮が必要な児童の受入環境を充実

子ども 新 ⑤夏休み期間にコミュニティ施設等を活用して子どもの居場所を開設する地域団体等を支援

子ども 改 ⑥病気や仕事で養育が一時的に困難となった児童を預かるショートステイの実施施設を拡大

子ども ⑦中小企業を対象に女性が働きやすい職場環境の整備に対し支援

基本目標1 若い世代に優しく、子育ての喜びが実感できるまちをつくる

【数値目標】



- ◆子どもを産み育てやすい環境が整っていると感じる市民の割合 **47.5%**(R5) → **59%**(R10)
- ◆合計特殊出生率 **1.35**(R4) → 国長期ビジョン、市人口ビジョン改訂に合わせて再設定

【主なKPI】

- まちの子育て保健室開設地区数
11地区(R5) → **53**地区(R7)
- 子育てアプリのダウンロード数（累計）
14,593件 (R4年度までの累計) → **30,000**件 (R10)
- 新・市公式LINE（ひとり親家庭向け配信）の登録者数
1,200人 (R6) → **1,800**人 (R10)
- 新・子どもの居場所が設置されている中学校区
19校区 (R6) → **23**校区 (R10)
- 新・金沢版子ども宅食の実施地区
4地区 (R6) → **7**地区 (R10)
- 新・情操教育の推進に取り組む児童館数
27館 (R6) → **33**館 (R10)
- 新・情操教育の推進に取り組む児童クラブ数
25クラブ (R6) → **60**クラブ (R10)
- 職場や家庭において、性別等に関わらず誰もが共に活躍できる環境が整っていると感じる市民の割合
48.2%(R5) → **60%** (R10)
- 働きがいや生きがいを感じている市民の割合
65.5%(R5) → **72%** (R10)
- はたらく人にやさしい事業所表彰企業数（累計）
67社 (R4年度までの累計) → **107**社 (R10)

上記の他、17のKPIを引き続き設定

基本目標2 金沢の強みを生かし、人々が愛着を持ち、集うまちをつくる

【数値目標】

- ◆若い世代が金沢に愛着を持っていると感じる市民の割合 **43.5%**(R5) → **54%** (R10)
- ◆新規大学卒業者の県内就職内定率 **41.1%**(R4) → **42.5%** (R10)



【主な取組】 1/2

(1) 高等教育機関等と連携した「学都金沢」の推進

新 ①関係人口の創出・拡大と文化を担う人づくりを推進するため、ふるさと納税を活用した大学寄附金制度を創設

新 ②就職活動前の学生等を対象に中小企業の魅力を発信するジョブコレクションを開催

改 ③30歳未満の新卒者及び県外からの転職者を正社員として雇用し、奨学金の返還支援を行う中小企業に対し助成（再掲）

(2) まちの魅力を生かした移住・定住の促進

移住定住 改 ①地域の魅力や活力の向上をめざし、地域おこし協力隊によるまちづくり活動を推進

移住定住 改 ②首都圏等に向けて移住希望者の検討段階に応じた効果的なプロモーションを展開

移住定住 新 ③首都圏等からの移住・定住につなげるため、サポートデスクを開設してニーズにあわせた支援を実施

移住定住 ④首都圏の若者の移住・就業を促進するため、市内企業との交流会を開催

移住定住 改 ⑤首都圏からのUJターンを促進するため、本市に移住する転職者等に対し助成

移住定住 改 ⑥市内企業への就職活動及び就業を促進するため、学生の東京圏からの交通費を助成

こども 改 ⑦保育士のUJターンの促進と人材の確保を図るため、県外からの転居費用等に対し助成

移住定住

基本目標2 金沢の強みを生かし、人々が愛着を持ち、集うまちをつくる



【主な取組】 2/2

(3) まちに愛着を持つ人材の育成

移住定住 **改** ①学生の卒業後の市内定着に向けて、大学と連携した社会人との交流会を開催

(4) 金沢と継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大

移住定住 **新** ①関係人口の創出につながる民間提案事業の具現化に対する支援制度を創設

新 ②関係人口の創出・拡大と文化を担う人づくりを推進するため、ふるさと納税を活用した大学寄附金制度を創設（再掲）

【主なKPI】

改 • 県市の施策を活用した県外からの移住者数

506人 (R4) → 680人 (R10)

• 多様な人々の交流・活躍により、地域が元気になっていると感じる市民の割合
43.6% (R5) → 55% (R10)

• ふるさと納税寄付受入件数
19,363件 (R4) → 30,000件 (R10)

上記の他、15のKPIを引き続き設定

基本目標3 イノベーションにより、産業と雇用が創出されるまちをつくる

【数値目標】



- ◆金沢の産業が活性化していると感じる市民の割合 **48.6%**(R5) → **53%** (R10)
- ◆金沢地域の観光入込客数 **864**万人 (R4) → **1,138**万人 (R10)

【主な取組】 1/2

(1) 金沢の文化と産学官の叡智の融合

①最先端技術を活用して新たなビジネスを展開する者及び金沢固有の文化である食と工芸に付加価値を生み出す者の支援や、独創的で卓越した知識及び技能を持つ子供の育成を支援

新②起業家のネットワークの構築に向け、交流会を開催するとともに、若者や女性起業家の活動を支援

③女性起業家を対象に、全国規模で活躍する女性起業家や事業を加速させる協力者・支援者とマッチングする場と機会を提供する実践プログラムを実施

(2) 持続可能な観光の振興

新①旅行者に向けたマナー啓発動画を金沢駅構内のデジタルサイネージで放映
マナー啓発動画に誘導するステッカーを作成

新②店舗等の協力により観光地のごみの引き取り等を行うモデル事業を実施

③中世から近代を通して発展・継承してきた金沢独自の歴史的庭園の保存活用を推進し、魅力を内外に広く発信



(3) 金沢ブランドを活用した独自産業の創出

①地元農林水産物の消費拡大を図るため、中央卸売市場を経由する地元農林水産物の情報をSNSで発信

②「KOGEI Art Gallery 銀座の金沢」や「金沢・クラフト広坂」において、工芸品の展示販売や作り手の紹介等イベントを定期実施



【主な取組】 2/2

(4) 多様な主体との連携による新分野産業の創出

- 新** ①大学等と連携し、社会課題の解決をテーマに最先端デジタル技術を活用した新産業の創出につながる事業を実施
- 新** ②デジタル関連企業やクリエイターの拠点となるオフィスの誘致活動を強化
- 新** ③本市に進出の可能性のある企業等を掘り起こし、地元企業との交流等を実施
- 新** ④中小企業が実施する採用に向けた新たな取り組みを支援

【主なKPI】

- ・ 金沢未来のまち創造館メンバーシップ登録者数（累計）
346者 (R4年度までの累計) → **1,269**者 (R10)
- ・ 創業支援等事業計画に基づき支援した創業者数（累計）
954人(H26～R4年度までの累計) → **1,608**人 (R10)
- ・ 先端デジタル技術を活用し、新たに取り組む実証実験・社会実装の事業数（累計）
R5年度開始 → **12**事業 (R10)
- ・ 金沢の食文化や工芸の魅力が、世界に知られている、認められないと感じる市民の割合
62.2%(R5) → **68%** (R10)
- ・ 金沢旅行の満足度
95.3% (R4) → **95%**以上を維持 (R10)
- ・ 地元農水産物が、金沢の誇れる地域資源だと感じている市民の割合
82.6%(R5) → **87%** (R10)

上記の他、17のKPIを引き続き設定

基本目標4 周辺地域と連携し、心地よく暮らしそういまちをつくる

【数値目標】

◆行政サービス等におけるデジタル化が進んでいると感じる市民の割合

35.3% (R5) → 60% (R10)

◆石川中央都市圏における連携事業数 95事業 (R5) → 110事業 (R10)



【主な取組】 1/2

(1) 圏域連携による経済・生活圏の形成

①圏域内のスムーズな移動の確保に向け、地域公共交通計画に基づき、持続可能な交通ネットワークを構築

こども 改 ②子育て世代に情報を発信するいしかわ中央子育てアプリをリニューアルし、一時預かり施設の予約機能等を追加（再掲）

本市が目指す交通ネットワークのイメージ



(2) コンパクトシティの形成

新 ①交通結節点の機能を強化するモビリティハブの整備を推進（香林坊・金石）

新 ②連節バスの導入に向けて、道路などの走行環境の整備に着手

③公共交通の利便性向上を図るため、新技術を活用した移動サービス（金沢MaaS※）の更なる拡充を推進

(3) コミュニティ環境の充実

①地域課題解決マッチングボックス「マッチ箱」を活用し、課題の可視化と解決に向けた協働を推進

②町会活動のICT化を推進し、地域コミュニティの活性化と効率化を促進

※MaaS : Mobility (移動) as a Serviceの頭文字で、すべての交通手段を1つのサービスと捉える新たな「移動」の概念

基本目標4 周辺地域と連携し、心地よく暮らしやすいまちをつくる



【主な取組】 2/2

(4) 元気な中山間地域の形成

①農業の省力化・生産性の向上のため、ＩＣＴ等を活用したスマート農業の現地普及を促進

(5) あらゆる世代が健康に暮らせる地域づくり

①認知症高齢者等の外出時の安全・安心を確保するため、二次元コード付きシールを配布し、地域ぐるみによる見守りを実施

(6) 誰一人取り残されない持続可能なまちづくり

こども 新 ①ヤングケアラーの悩みに寄り添う相談支援カフェを開設するとともに、個別具体的な支援に繋げるため、小中学生向けの実態調査を実施
併せて、ヤングケアラーの負担軽減を図るため、家事支援ヘルパーを派遣

こども 新 ②中高生の自由な居場所「ユースセンター」を長土堀青少年交流センターに開設するとともに、多様な居場所で青少年の成長をサポートするユースワーカーを養成

こども 新 ③ひとり親家庭等の子どもの大学等受験料に対する助成制度を創設

新 ④公共施設等の利用や避難所の入退所にも活用できるスマートフォン対応のデジタル市民パスを導入

【主なKPI】

- 市内の多様な公共交通の利用環境が良いと感じている市民の割合
39.7% (R5) → **50% (R10)**
- シェアサイクル「まちのり」の利用者の満足度
94.6% (R4) → **95% 以上を維持 (R10)**
- まちづくり活動や地域活動に参加する市民の割合
52.9% (R5) → **58% (R10)**

上記の他、27のKPIを引き続き設定

参考 令和6年第1回第3次金沢版総合戦略推進委員会（R6.10.22）での主な意見と対応

基本目標	意見	関連施策
1	<p>（中川委員） 女性目線でまちづくりを考えていくことが大切である。女性が育児から戻ってくることができるよう、スキルアップしながら勤務できる環境づくりが必要である。</p>	金沢こどもまんなか未来プラン策定に伴い、子育て支援施策を追加するとともに金沢市中小企業カムバック・リスクリキング支援事業を推進。
2	<p>（大井委員） 金沢市を離れた人でも関わりをもちたいと思えるような取組みが必要。定住人口の増加のほか、関係人口の創出が重要である。</p>	関係人口創出につながる民間提案事業支援を追加。
2	<p>（砂塚委員） 金沢市は文化力や教育力が高く非常に暮らしやすいまちであるが、今後さらに人を引き付けるまちになることが大切である。</p>	子育て支援施策を追加。その他、地域おこし協力隊によるまちづくり活動等、地域の魅力・活力向上へ向けた施策を追加。
3	<p>（山田委員） 新卒者の県外への転出を防ぐほか、スキルを身に付けた人のキャリア採用、中途採用をする企業を増やす支援がこれまで以上に必要である。</p>	学生等を対象とした中小企業魅力発信事業を追加。 学生と市内の社会人の交流事業を拡充。
3	<p>（長谷川委員） 首都圏に転出した若者が、子育てのため金沢に戻ってきたいと思えるような、働き先が金沢市には少ない。また、地方は男女の賃金格差が大きく、女性が持っている能力を活かせる働き先がもっとあると良い。</p>	デジタル関連企業等の拠点となるオフィスの誘致活動を強化。 女性が働きやすい職場環境の整備に対し支援を継続。
4	<p>（近藤委員） 大企業であれば出産、介護などで離職した場合でも復職が容易だが、中小企業だと難しい。一方で労働市場的には人手不足であり、市としてフォローできるような仕組みづくりが必要ではないか。</p>	中小企業を対象に、育児や介護等で離職した従業員を元の職場で再雇用する場合に助成する制度を継続。